

# 9 とうしょ 島嶼性 — 島環境での進化



もともとは大陸の一部であった琉球列島は、大陸やほかの島々との接続・分断によって今の姿になりました。展示資料を見て、動物たちが小さな島で生きるためにどのように適応進化してきたのかを探ろう。

1. 島は、誕生のしかたによって大きく2つに分けることができます。次の表の空欄に、下の語群から適するものを選び、記号で答えよう。

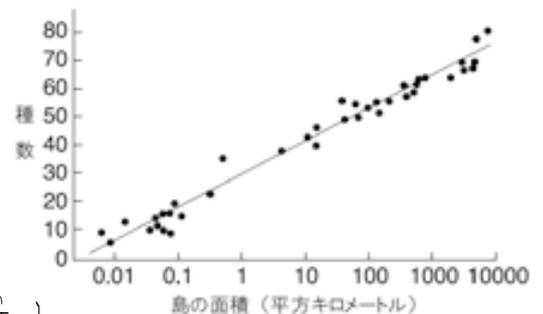
島の種類	特 徴	例
海洋島		
		琉球列島・ニュージーランド・ボルネオ等

- 語群 ( ①浮島    ②大陸島    ③海底火山などにより海のなかにできた島  
 ④海進（海水面の上昇）などによって、大陸から分断されてできた島  
 ⑤ガラパゴス諸島・ハワイ諸島    ⑥西インド諸島    ⑦ジャワ島・スマトラ島 )

2. 下図は南太平洋にあるソロモン諸島の島々の面積と、そこでくらしている鳥類の種数の関係を示したものです。これについて、以下の問いに答えよう。

1) この図から、どのようなことがわかりますか。次の文章の ( ) 内に適語を入れなさい。

島の面積が小さくなると、そこでくらせる鳥類の種数が ( ) になります。このような関係は、ほかの動物群やほかの場所でもあてはまります。なかでも、( ) のような強力な捕食動物は生きるために広い面積が必要になるため、小さい島では絶滅します。



- 語群 [ ①多く    ②少なく    ③肉食性哺乳類    ④爬虫類 ]

2) 展示物の中から、身を守るための形態や体色が変化（適応進化）したと考えられるものを2つ選び、どのように変化したのかを書いてみよう。

動物名 ( )    特徴 ( )  
 動物名 ( )    特徴 ( )

3) リュウキュウアオヘビは小さい島（宝島）で小型化し、一方、サキシママダラは小さい島（仲之神島）で大型化しています。なぜそうなったのか書いてみよう。

リュウキュウアオヘビ ( )  
 サキシママダラ ( )

4) 大陸や大きな島では、ふつう食べないようなさまざまな餌を食べるように習性を変えることによって、生き残った動物は何ですか。( )